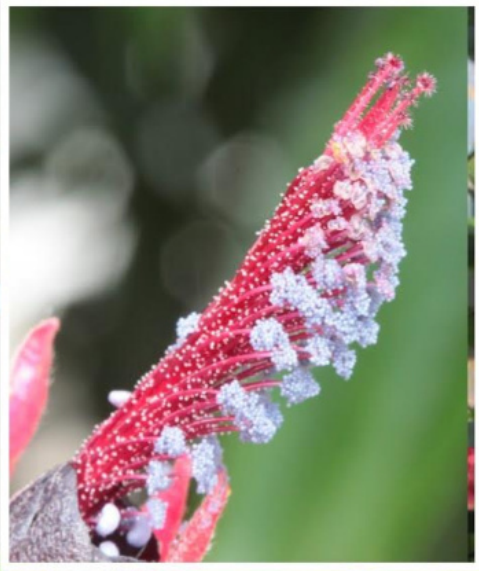


はなの輪

広島市植物公園植物友の会

2021年10月-12月 通巻第169号



雄しべの束と花粉



開く前のがく



園長のおすすめ 2020年11月22日号より

パヴォニア・グレドヒリイ *Pavonia x gledhillii*

この植物は、イギリスのGledhill博士が、ブラジル原産の *Pavonia macoyana* と *P. multiflora* を交配して作った品種とされています。赤く美しい花を、ろうそくの炎に見立ててブラジリアン・キャンドルズとも呼ばれます。この赤い部分は花びらではなく副萼片と呼ばれる部分で、一般に花びらと呼ばれる萼片と花弁は地味な色で目立ちません。他にも筒状に束なった雄しべや、その筒から飛び出す雌しべなど、おもしろい花のつくりがよくわかりますので是非観察してみてください。

(園内位置：大温室フラワーコーナー) [写真・文 世羅 徹哉]

園長のおすすめ

植物公園ブログでは、園長のおすすめを定期連載中です。

見ごろの植物や最新のイベント情報も掲載しています。



<https://blog.hiroshima-bot.jp>

今日の植物公園から今週の植物公園へ

植物公園は、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令により、令和2年4月22日（水）から5月17日（日）の間、臨時休園しました。その休園期間中に、園内の開花情報や自宅で学べる・楽しめる植物に関する情報を「今日の植物公園」として、公式ブログで日替わりで提供しましたので、その後の経過と内容を抜粋してご紹介します。

私が担当した時はちょうど「ひろしまはなのわ2020（第37回全国都市緑化ひろしまフェア）」が開催され、当園がスポットイベントの会場になっていました（写真1、2）。ちょうどネモフィラやバラの見頃で、1年で一番花が咲いている時期だったので、休園はとても残念でした。

令和3年5月に臨時休園した時には、ネタがなかったので、私の担当日には「園内ぶらぶら散歩」というタイトルにしていろいろ載せることにしました。この時は、またしてもちょうどバラや花菖蒲の見頃でした（写真3、4）。この時の私のお気に入りには、日本庭園の池で甲羅干しをしている亀です（気持ちよさそうでした）。2年連続で、バラの見頃を来園者に見てもらえなかったのは残念でした。

現在、4度目の臨時休園（令和3年9月30日まで〔執筆時〕）となり、ブログは日替わりで更新しています。ぜひ、ご覧ください。



写真1. 広島の名物を花文字で彩った花壇



写真2. ネモフィラの丘

5月18日の再開園後は、「今日の植物公園」の配信を終え、「今週の植物公園」として週1回を目安に配信することになりました。

ですが、その後もコロナによる臨時休園が3度あり、その都度「今日の植物公園」の配信が復活しています。



写真3. バラ



写真4. 花菖蒲



写真5. 甲羅干しをする亀

2021年10月～12月 展示会・イベント案内

秋のグリーンフェア期間中 [10/30～11/7] は入園料無料（駐車場は有料）、11/5は開園します

10/30 (土)
～ 11/7 (日)

秋のグリーン フェア2021

クイズラリーや体験教室、フリーマーケット
やコンサートなど家族で気軽に秋の緑に親しん
でいただけるイベントが盛りだくさんです！！

＊期間中の土日祝にカープのユニフォームを着てきた人にカープグッズプレゼント（各日先着100名）

11/3 (水)

植物公園開園 45周年記念行事

クイズラリーやマリンバコンサートなどを
行います。クラフトコーナー（たねダンゴづくり
ほか）や地元野菜の即売なども予定しています。

11/27
12/4,11,18,25
(毎週土曜日)

花と光のページェント ～クリスマス 夜間開園～

20時まで開園。キャンドルやイルミネーショ
ンで園内を華やかに彩るとともに植物のライト
アップも行い、幻想的な雰囲気 연출します。



展示会のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、展示会・イベントを中止・延期する可能性があります。

私の好きな花たちの写真展	共催：新田写真教室	10/ 2～10/11	展示資料館
秋の山野草展	共催：広島山草同好会	10/ 2～10/ 7	屋外展示場
サボテン展	共催：広島カクタスクラブ	10/ 9～10/24	展示温室
野生きのこ展	共催：広島きのこ同好会	10/16～10/24	展示資料館
ガーデニングコンテスト作品展	共催：広島県花き商業協同組合	10/23～11/ 3	カスケード
ハンギングバスケット作品展	共催：日本ハンギングバスケット協会	10/23～11/ 3	大温室前
キク展		10/23～11/14	屋外展示場
趣味のボタニカルアート展	共催：花も実もある会	10/30～11/28	展示資料館
秋の洋ラン展	協力：広島洋蘭倶楽部他	10/30～11/ 7	展示温室
寒蘭展	共催：広島和蘭会	11/10～11/15	展示温室
クリスマスを飾るフラワー展		11/20～12/25	展示温室
企画展「植物公園のしごと」		12/ 4～12/26	展示資料館

Event Information 2021 10-12

植物園で開催されるイベントを紹介します

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、イベントを中止・変更する可能性があります。

来園前に最新の状況を植物公園ホームページや電話でご確認ください。

10月

植物写真撮影講習会 10月2日(土) 午後1時～3時	植物写真の撮り方についてのひと工夫を解説します。先着30名。持参物：カメラ(絞りやシャッター速度等の調整ができるもの)、三脚(持っている人)
秋の山野草実演会 10月3日(日) 午後1時半～2時半	秋の山野草の育て方について実演・解説します。先着50名。
サボテン展解説 16日(土)に振替 10月10日(日)11:00～15:00の間、随時	広島カクタスクラブ会員がサボテン展の解説を随時行います。
みどりとむし講座「アサギマダラ観察会」 10月16日(土) 午前11時～正午	園内にも飛来する旅するチョウ「アサギマダラ」やアサギマダラが訪れる花「フジバカマ」等の解説(座学)を行います。先着100名。
ガーデニングコンテスト受賞作品解説 10月24日(日) 午後2時～2時40分	受賞作品と審査のポイントをハンギングバスケットマスターが解説します。先着100名。

11月 12月

季節の園芸講座 11月6日(土) 午後1時半～3時	「趣味の園芸」講師の本園職員島田専門員による季節を彩る草花を存分に楽しむためのとっておきの方法を解説します。先着100名。
コスモスの摘み取り体験 11月7日(日) 午後1時～3時	コスモスを自由に摘み取り、一人10本までお持ち帰りいただけます。先着200名。
寒蘭実演会 11月14日(日) 午後1時半～2時半	寒蘭の育て方について実演・解説します。先着50名。

✓10月14日までガイド中止

- *毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内しています
- *毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時～は、園内で職員による植物うんちく語りを実施しています

∨10月12日のうんちく語りは19日に振替



旅するチョウ「アサギマダラ」



コスモスの摘み取り体験



寒蘭実演会

サボテン展 Cactus exhibition (10/9~24)



マミラリア '景清'



アリオカルプス 'ゴジラ亀甲牡丹'



展示会場の様子

サボテンや多肉植物は、独特の草姿が若い世代に受け、今注目を集めています。手がかからず、育てやすい種類も多く、100円ショップでも安価な苗が売られています。サボテンの世界は奥が深い世界で、サボテン展では珍しい種類だけでなく、たくさん売られている普通種を長年かけて作りこんだ力作の数々も出品されます。インスタ映えのする美しい作品は必見です。

紅葉 (黄葉) Autumn leaves



アメリカフウ (香りの小径~東屋)



ヤマコウバシ (休憩展望塔近く)



イチョウ (芝生広場)



ニッサ・シネンシス (ツバキ園)



カエデのなかま (カエデ園)



ベニマンサク (芝生広場奥)

秋が深まるにつれ、園内の木々も色づいてきます。普通の植物は紅葉(黄葉)した直後に葉を落としますが、ヤマコウバシは少し変わっていて、春先まで茶色くなった葉が木についたままになっています。植物公園では、毎年12月からこの葉を「落ちない葉っぱ」のお守りとして、売店で販売します。

10月～12月に見ごろを迎える植物



プリムラ・ポリアンサ
(カスケードほか園内花壇)



コスモス 'センセーション'
(レストラン前花壇ほか)



タマスダレ
(花の進化園)



ダリア
(花の進化園ほか)



オヒルギ
(大温室)



モノレナ・プリムリフロラ
(大温室)



アリストロキア・トリカウダタ
(大温室)



シクラメン
(展示温室)



ダイオウキリン
(サボテン温室)



オオバショウマ
(里山の野草園)



バラ 'プレイボーイ'
(バラ園)



サザンカ '昭和の栄'
(ツバキ園)

農業に関する格言に、「春の一日、秋の十日」というものがあります。秋は急に寒くなるので、種まきが1日遅れると収穫が10日も遅れると注意をしています。この時期は気温の変化に合わせて、短い周期で園内の見ごろの花も変わっていきます。 [写真・文：久保 晴盛]

Plant Doctor Q&A

植物公園では、緑の相談窓口を設置しています。
家庭園芸のお困りごと、何でもご相談ください。
[☎082-922-3600 金曜を除く午後1時～4時]

Q. ラナンキュラス ラックスシリーズは、夏越しさせて翌春に再び花を楽しむことは出来ますか？

A. そのまま育てれば大株になり、来年の4月頃にはたくさんの花を咲かせてくれることでしょう。

これまでのランキュラス品種は、夏の高温多湿で球根が腐るため、一度掘り上げ乾燥させた状態で秋の植え付けまで管理をしなければいけませんでしたが、最近では植えたままで夏越しができる、性質の強い品種が登場しています。

このたびご質問のランキュラス ラックスシリーズは、ランキュラス属の異種間交配で作出された新しい品種で、スプレー咲きで光沢がある花が特徴の、暑さ、寒さ、雨にも強い丈夫な品種です。

植えっぱなしでも地下に球根が残り、9月末頃から新芽が出はじめ（厳寒期には一部の葉が傷みますが）、翌春にはたくさん花を咲かせてくれます。花を咲かせた後は、3年に一度程度、秋の芽出しの頃に株分けをしてあげるとさらに良いでしょう。

[文 富澤 まり]

Q. 変化朝顔の葉やつぼみに白いぶつぶつができました。これは病気ですか？

A. 「アサガオ白さび病」という病気です。広島では2000年代に入ってから観察されるようになり、6月頃、もしくは暑さのピークが過ぎた頃に症状が現れることがあります。特に、変化アサガオでは、葉に凹凸がある系統がこの病気にかかりやすいので注意が必要です。



写真 白さび病に感染した朝顔のつぼみ

感染を確認したら、直ちに感染部分を切除して廃棄しましょう。株全体に感染が広がっている場合、株と用土をすべて廃棄することをおすすめします。現時点では、登録のある薬剤がないため、病気の発生を未然に防ぐことが重要です。具体的には、「残渣は早めに廃棄する」、「窒素肥料を多用しない」、「風通しと排水を良くし、多湿環境を避ける」、「株の上から水やりをしない」などといったように、栽培環境を整えることから始めましょう。

[写真・文 山本 晃弘]

Q. フヨウの剪定の仕方を教えてください。

A. フヨウは、通常なら冬に落葉し、春に新しい枝が伸び始めてから花を作り始めます。そのため、冬の間は剪定をするのが一般的です。

十分に成熟した株は、春から秋の間に1m以上、新しい枝を伸ばします。また、同時に多くの枝を出すので、剪定をしないと大きくなりすぎたり、長く弱い枝になって折れたり、混みすぎで見苦しい樹形になったりします。葉が落ちている間に、主になる幹の形を見ながら、伸ばしたい方向の枝だけを残して、思い切りよく切ってください。芽吹きが非常に良いので、細い枝や込み合った枝、要らない方向に伸びていた枝は、元から切除して良いです。伸ばしたい方向の枝も、長く残すと弱い枝になるので、枝分かれしたところから、せいぜい10～20cm程度の長さに切り詰めることをお勧めします。春から夏の間、元気な株であれば多数の新しい枝が出ますが、全体でこんもりした樹形を完成させますので、よほど枝の混み合い具合が気にならない限りは枝を間引く必要はありません。

フヨウは挿し木で簡単にふやすことができます。お持ちのフヨウが、挿し木してから1～2年程度の若い株であれば、まずは樹形を作る事を心がけ、数年間は冬の剪定を行わないでください。春に枝が伸び始めたとき、株の中心から外に向かって伸びる強い枝を生かすようにして、その上にある望まない方向に向いた枝や、込み合った枝を切除するようにします。

[文 濱谷 修一]

ハス（蓮）とスイレン（睡蓮）の見分け方

違った種類でもよく似ている植物はたくさんあり、ハス（蓮）とスイレン（睡蓮）も御多分に漏れずよく似ています。さらに生育環境も似ていて、同じ場所に植えられていることも多いため、間違えることが多い植物です。今回はそんなハスとスイレンの見分け方を紹介したいと思います。

両者の見分け方でよく言われるのが、ハスは花も葉も水面から立ち上がって開き、スイレンは水面で開くというものです。これに当てはまるものもいくらかありますが、小さな睡蓮鉢だと葉が立ち上がったり、下の写真のようにスイレンでも熱帯性スイレンは水面から立ち上がって花が咲くため、確実な見分け方ではありません。

まずは葉での見分け方です。ハスの葉には切れ込みがなく、触ってみるとザラザラした感触があります。このザラザラには水を弾く特徴（ロータス効果）があるため、水をかけると水玉になるのが分かります。一方、スイレンの葉には切れ込みと光沢があり、水は弾きません。

次に花ですが、一番分かりやすいのは花が散った後に果托（花が咲いている時は花托、咲き終わった後は果托と呼びます）が残るかどうかです。ハスは花が咲き終わると果托が立ち上がったままで残り、スイレンの花は水の中に沈んでしまいます。花が咲いている時も、ハスの花は「果托」になる部分が観察できるので、見分けができます。

また、地下部にも違いがあります。ハスの地下茎は皆さんがよくご存じのレンコン（「蓮根」と書くので根と思われがちですが、本当の根はレンコンのくびれから出ているヒゲの様なもの）ですが、スイレンの地下部はワサビの根（根茎と呼び、正確には茎）のような形をしています。

下記にハスとスイレンの違いを表にしてみました。見比べる時の参考にしてみてください。

	ハス	スイレン
葉	切れ込みがない 水を弾く	切れ込みがある、水を弾かない
花	果托が残る	果托が残らない
地下茎	レンコンの形	ワサビの根のような形



熱帯性スイレン アンタレス



スイレンの葉



ハスの果托



ハスの葉

[写真・文 在岡 郁雄]

 **広島市植物公園**

広島市佐伯区倉重三丁目495

☎ 082-922-3600 📠 FAX 082-923-6100

- 開園時間 午前9時～午後4時半（入園は4時まで）
- 休園日 毎週金曜日
- 入園料 大人510円、高校生および65歳以上170円、中学生以下無料
- 駐車料 軽・普通自動車450円、中・大型車1,400円

